
2021年8月期決算説明資料

(2020年9月1日～2021年8月31日)

株式会社アドテックプラズマテクノロジー
代表取締役社長 森下 秀法
(東証2部 6668)

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、感染拡大防止にご尽力されているすべての皆様に敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

当社グループは、感染拡大防止及び安全の確保を最優先として、感染防止策を徹底の上、業務を遂行してまいります。

会社概要

商号	株式会社アドテック プラズマ テクノロジー		
本社所在地	広島県福山市引野町五丁目6番10号		
設立	1985年1月（昭和60年1月）	代表者	森下 秀法
資本金	835百万円（2021年8月31日現在）		
連結子会社	Adtec Technology, Inc.（米国）	1996年8月設立	
	Adtec Europe Limited（英国）	2000年8月設立	
	株式会社IDX（栃木県）	2004年12月子会社化	
	PHUC SON TECHNOLOGY CO.,LTD.（ベトナム社会主義共和国）	2011年5月設立	
	Hana Technology Co., Ltd.（韓国）	2011年5月設立	
	愛笛科技有限公司（台湾）	2014年8月設立	
	蘇州啐啄電子有限公司（中国）	2016年4月設立	
発行済株式数	8,586,000株（2021年8月31日現在）		
従業員	連結：498名（2021年8月31日現在） 単体：203名（2021年8月31日現在）		

2021年8月期 業績概要

業績概要

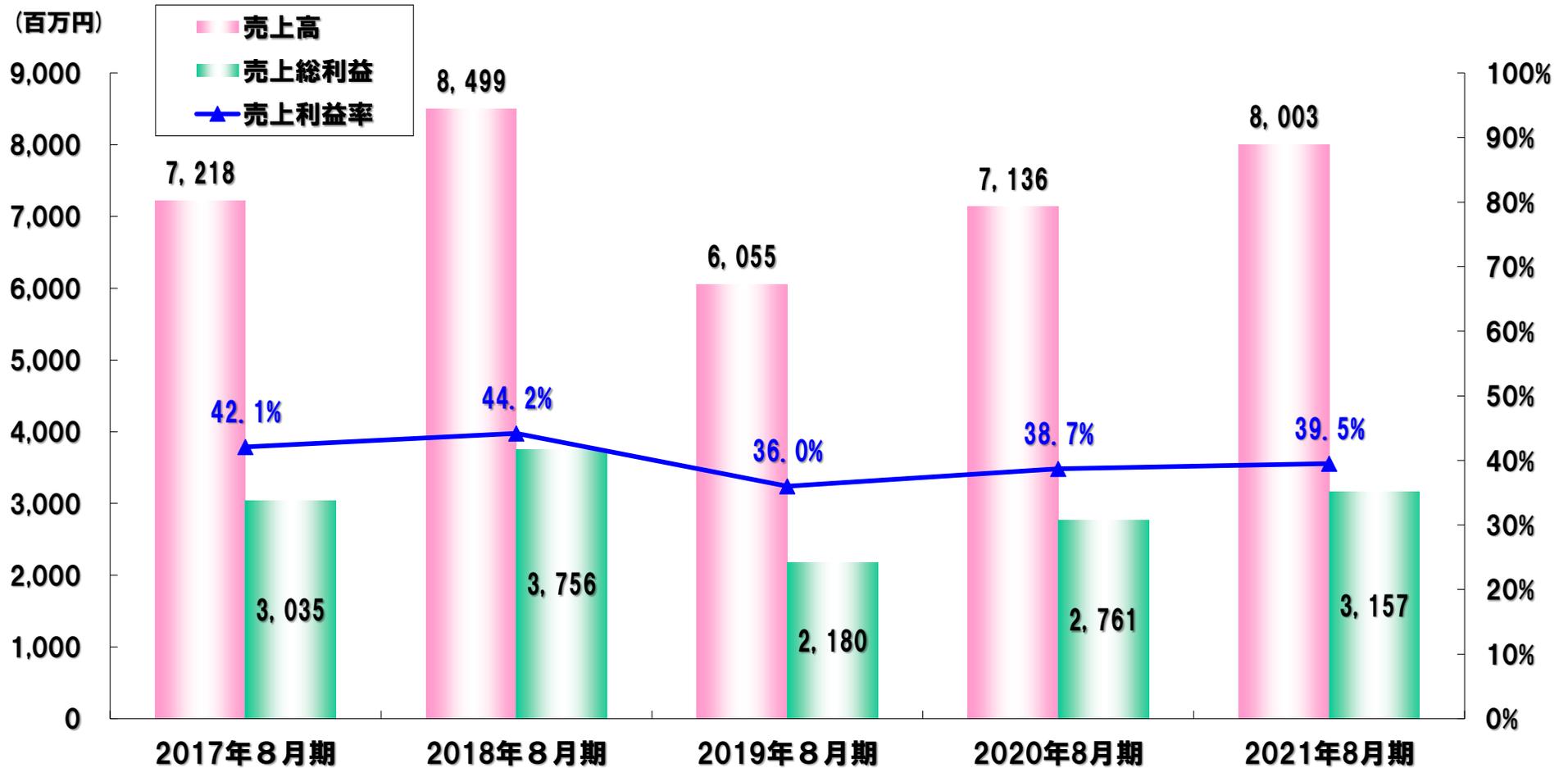
連結

(単位：百万円)

	2020年 8月期	2021年 8月期	増減額 (増減率)
売上高	7,136	8,003	866 (12.1%)
売上総利益	2,761	3,157	396 (14.4%)
営業利益	874	1,102	228 (26.1%)
経常利益	889	1,160	271 (30.5%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	648	875	226 (34.9%)

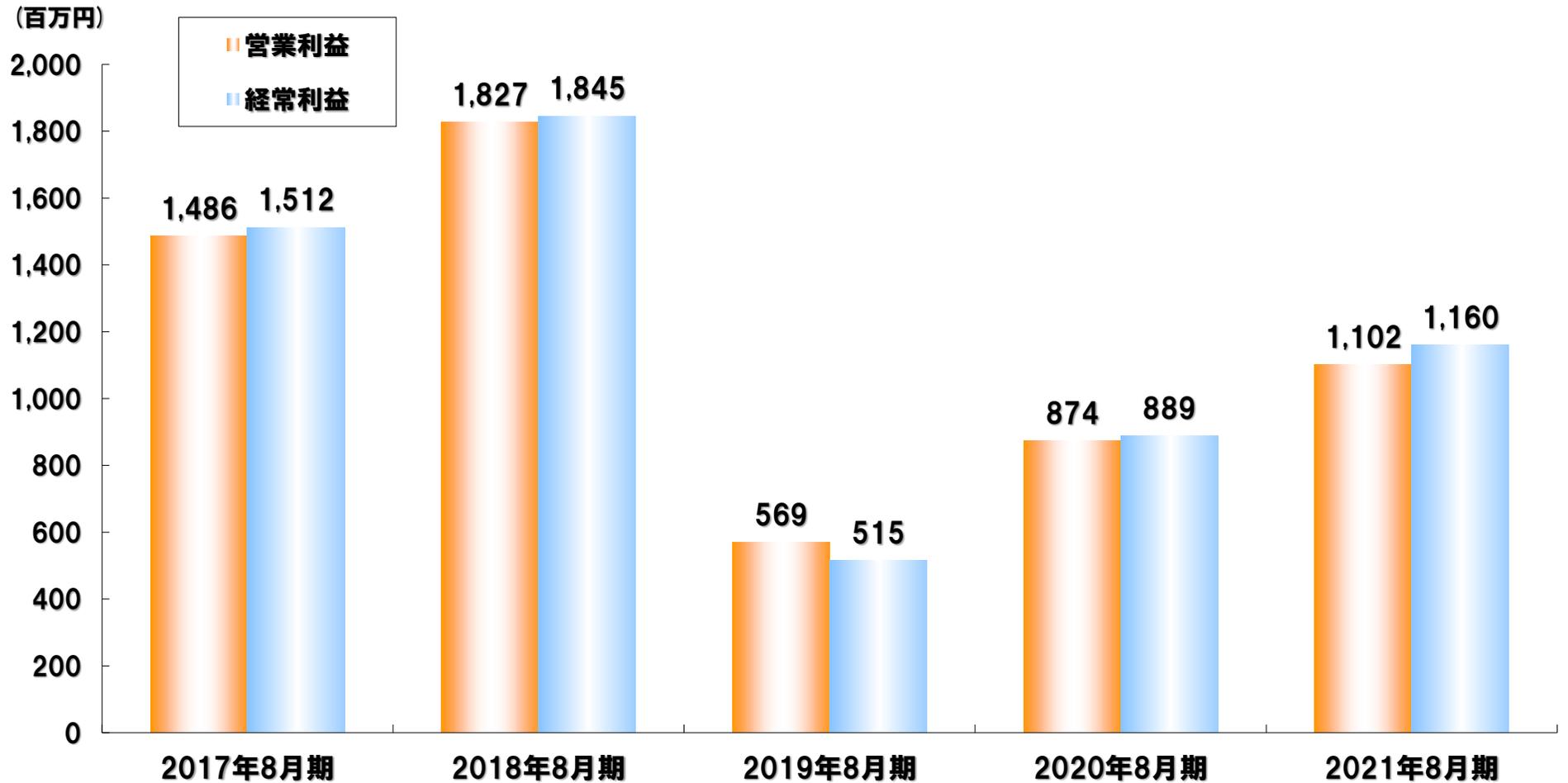
業績概要

売上高・売上総利益推移（連結）



業績概要

営業利益・経常利益推移（連結）



業績概要

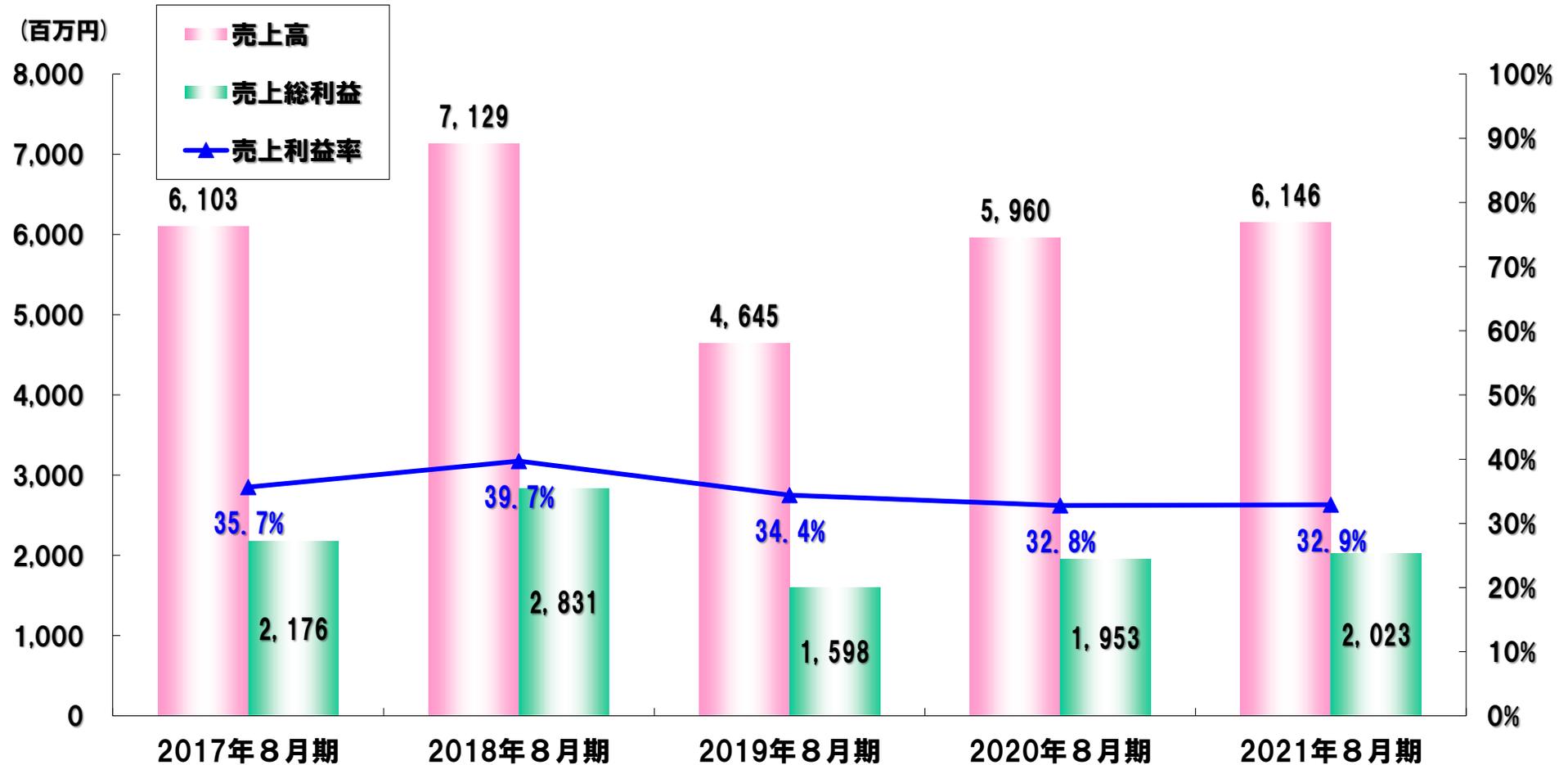
単体

(単位：百万円)

	2020年 8月期	2021年 8月期	増減額 (増減率)
売上高	5,960	6,146	186 (3.1%)
売上総利益	1,953	2,023	70 (3.6%)
営業利益	733	652	△80 (△11.0%)
経常利益	708	748	39 (5.5%)
当期純利益	506	556	49 (9.8%)

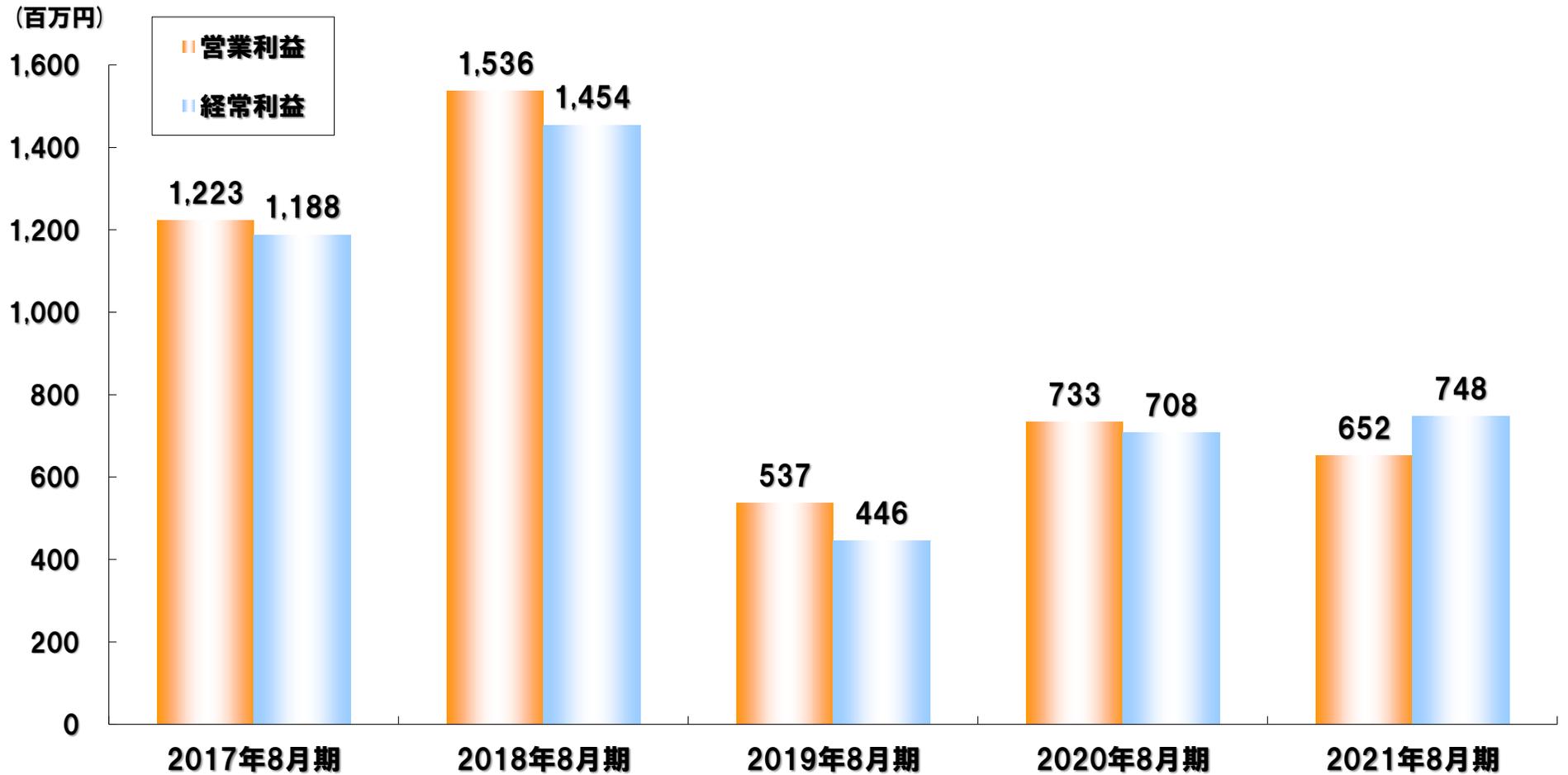
業績概要

売上高・売上総利益推移（単体）



業績概要

営業利益・経常利益推移（単体）



業績概要

報告セグメント

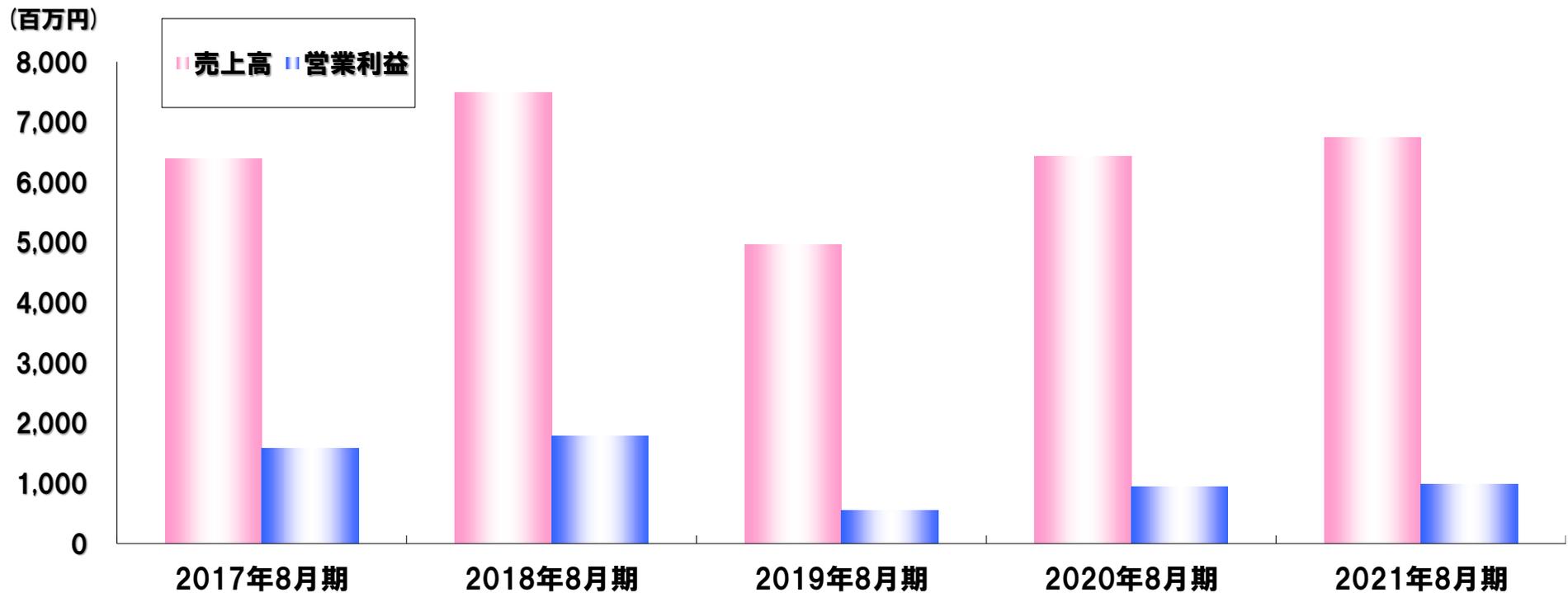
セグメントの名称	会社名
半導体・液晶関連事業	株式会社アドテックプラズマテクノロジー（日本）
	Adtec Technology, Inc.（米国）
	Adtec Europe Limited（英国）
	PHUC SON TECHNOLOGY CO.,LTD.（ベトナム社会主義共和国）
	Hana Technology Co., Ltd.（韓国）
	愛笛科技有限公司（台湾）
	蘇州啐啄電子有限公司（中国）
研究機関・大学関連事業	株式会社 I D X（日本）

業績概要

半導体・液晶関連事業

(単位：百万円)

	2017年8月期	2018年8月期	2019年8月期	2020年8月期	2021年8月期
売上高	6,390	7,483	4,959	6,435	6,748
営業利益	1,585	1,785	556	948	986

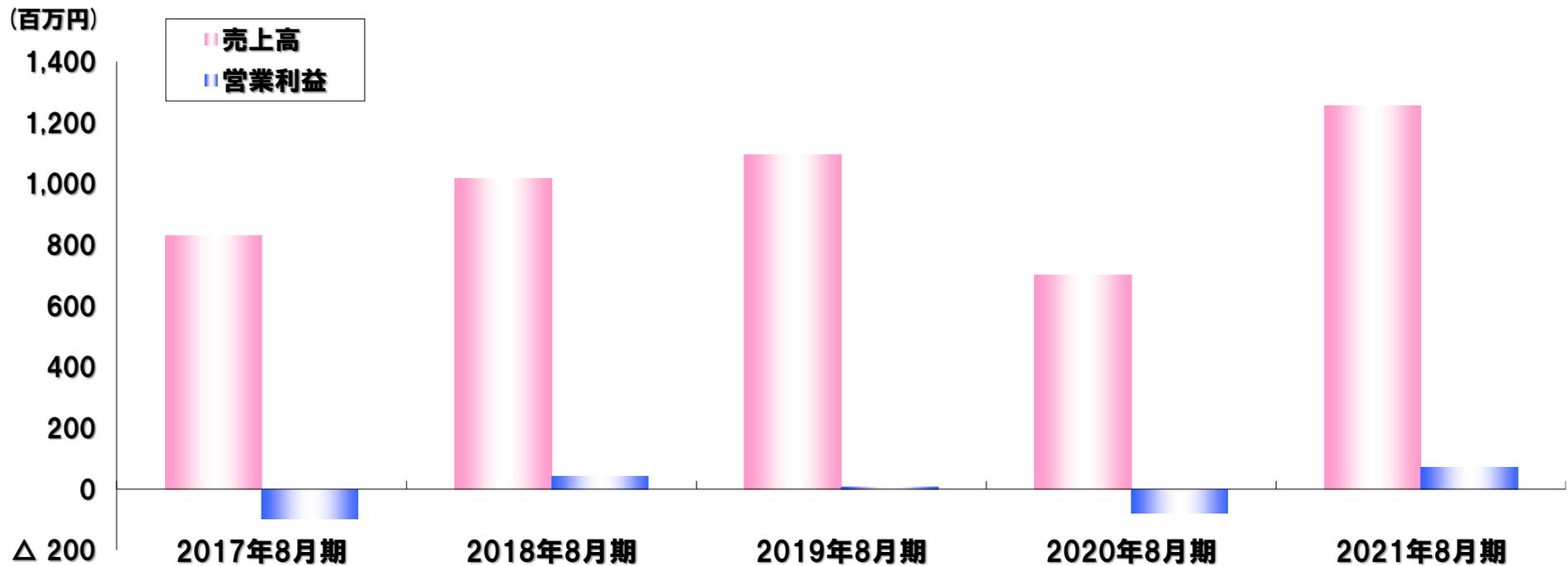


業績概要

研究機関・大学関連事業

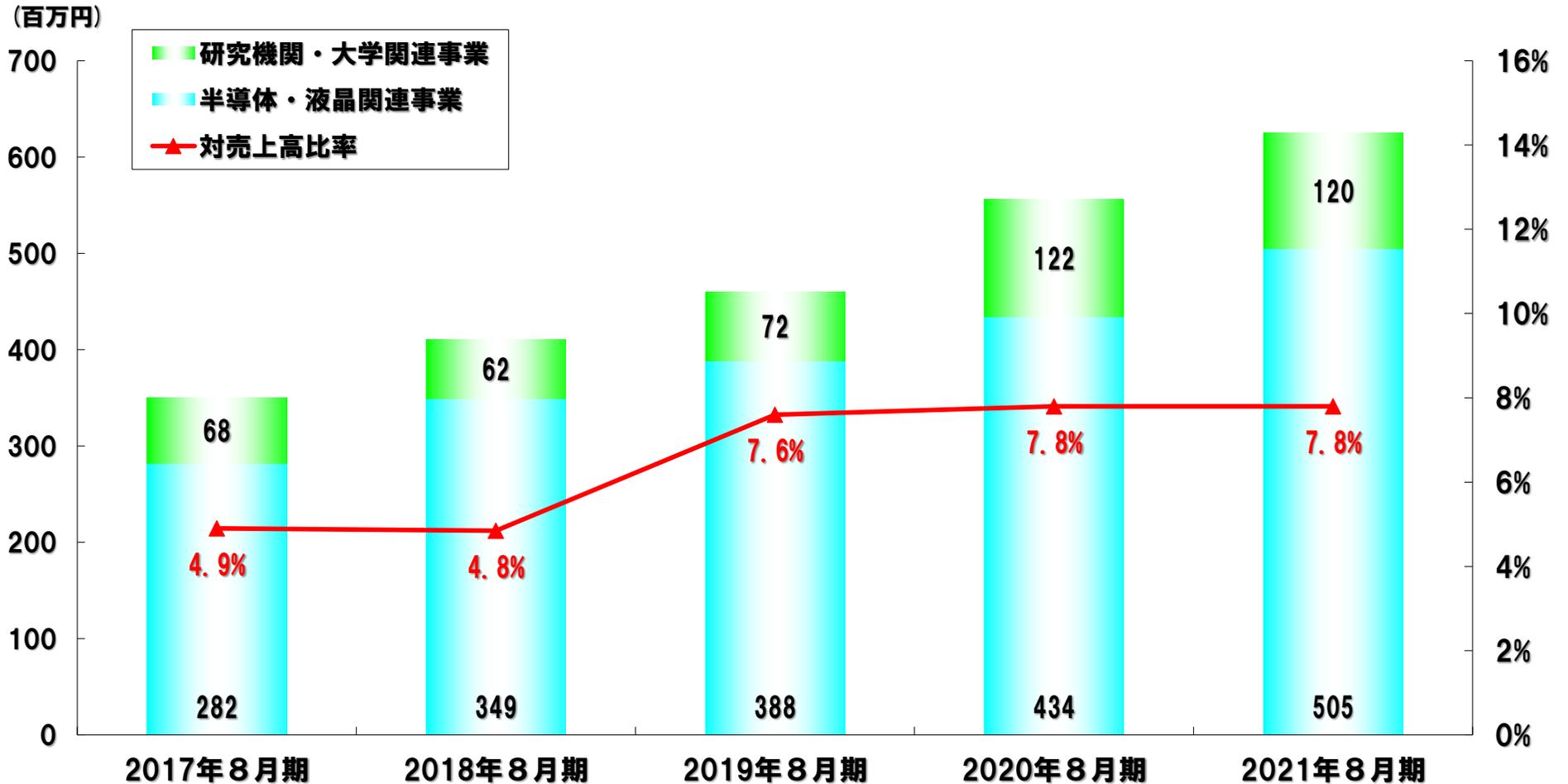
(単位：百万円)

	2017年8月期	2018年8月期	2019年8月期	2020年8月期	2021年8月期
売上高	828	1,016	1,095	701	1,255
営業利益	△99	42	6	△79	70



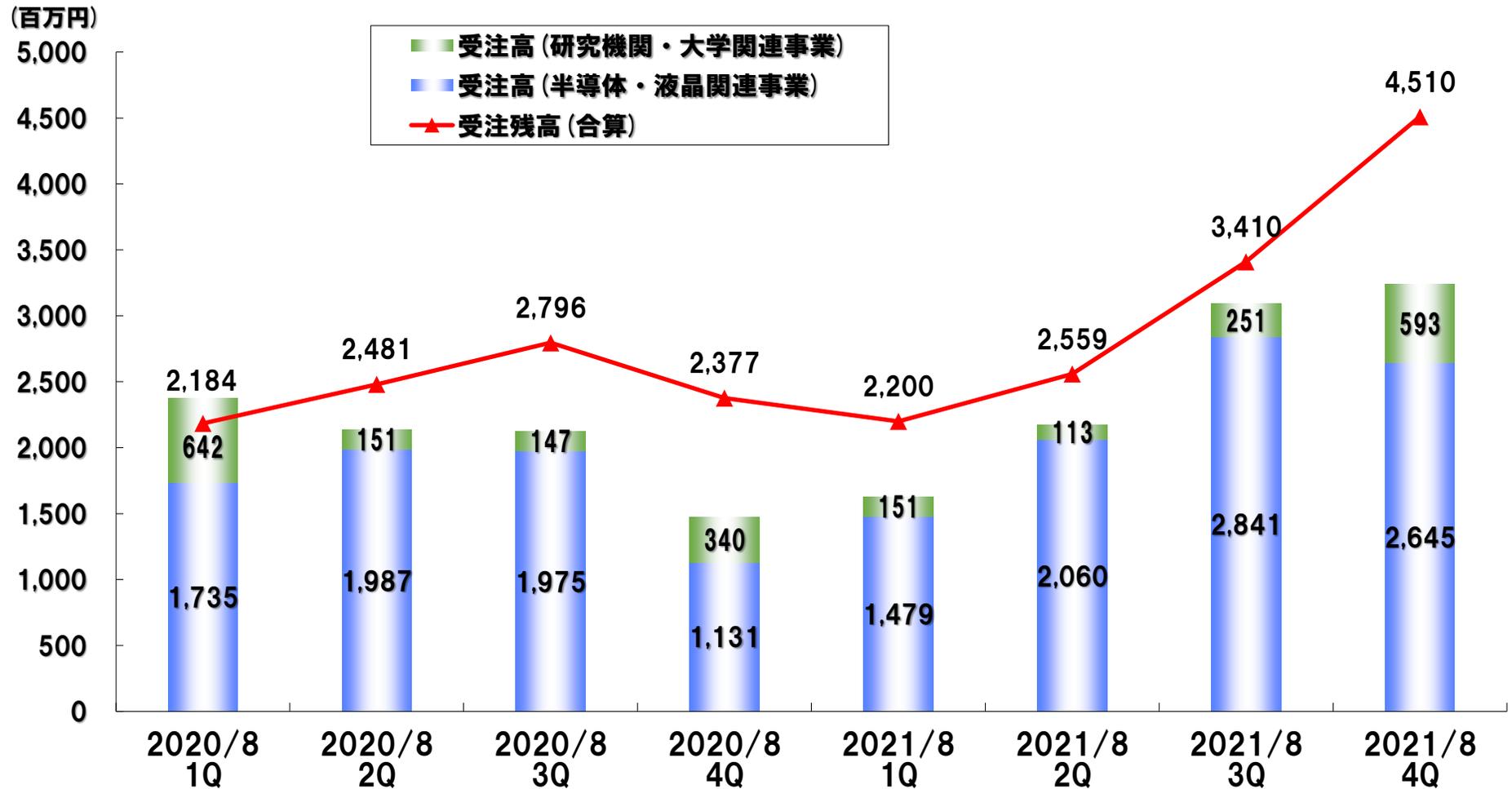
業績概要

研究開発費推移



業績概要

受注高・受注残高推移



業績概要

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位：百万円）

科目	2020年 8月期	2021年 8月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△66	△185	△118
投資活動によるキャッシュ・フロー	△377	△226	151
財務活動によるキャッシュ・フロー	659	169	△489
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	90	94
現金及び現金同等物の増減（△）額	210	△151	△362
現金及び現金同等物の期首残高	2,619	2,830	210
現金及び現金同等物の期末残高	2,830	2,679	△151

新型コロナウイルスの感染拡大に対する当社グループの対応方針

「社員及び関係者の安全確保」を最優先し、感染予防と感染拡大防止に努め、「事業継続」を維持する

対応
継続中

対策本部設置

- ・非接触式体温検知器による体温測定の実施
- ・在宅勤務、時差出勤の導入
- ・国内外の移動制限
- ・マスク着用、手指消毒の徹底
- ・アルコール消毒、換気
- ・個人デスクへのパーティションの設置



2022年8月期 業績予想

業績予想

(単位：百万円)

連結	2021年 8月期実績	2022年 8月期予想	増減額 (増減率)	備考
売上高	8,003	11,500	3,496 (43.7%)	<p>【半導体・液晶関連】</p> <p>○台湾、韓国、中国、アメリカを主とするデバイスメーカーの積極的な設備投資により、前期下半期以降急速に受注が増えており今後も高いレベルでの安定的な受注、売上を予測している。</p> <p>△国内外における技術サービス、生産等トータル体制の強化による経費の増加。</p> <p>【研究機関・大学関連】</p> <p>続官新民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場規模が大きい直流電源、マイクロ波電源市場における受注獲得の強化。 ・直流電源（バイポーラ、モノポーラ）ラインナップの充実。 ・マイクロ波電源ラインナップの充実 ・海外拠点への生産移管、量産体制の構築 <p>《今後の取り組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内、海外生産の拡大⇒国内、海外生産キャパ2倍、コスト削減、納期短縮 ・新製品開発⇒高効率RF電源、変換効率90%以上を目指す。 ・設計キャパの拡大⇒社員教育の強化、AI活用によるシミュレーションや自動化を加速。国内外から人員の増員を図り、設計キャパ2倍を目指す。製品ラインナップの充実化を図り新規市場を含めた顧客の獲得。 ・中国、台湾、韓国の現地装置メーカーへの営業、技術提案を強化し、現状のシェア2倍を目指す。
営業利益	1,102	2,000	897 (81.4%)	
経常利益	1,160	2,000	839 (72.3%)	
親会社株主に帰属する 当期純利益	875	1,500	624 (71.4%)	
1株当たり配当金 (年間) (円)	12	12	-	

今後の戦略

プラズマ用高周波電源



TXL/TXR/TXM/TXHシリーズ

特長

- 最新CPUを搭載 (高速応答性UP)
- 新通信方式に対応

シリーズ	周波数	定格電力	
TXL	400kHz	500W	
TXL	400kHz	1000W	
TXL	400kHz	2000W	開発中
TXR	13.56MHz	300W	
TXR	13.56MHz	600W	
TXR	13.56MHz	1000W	
TXR	13.56MHz	2000W	
TXR	13.56MHz	3000W	
TXR	13.56MHz	20000W	NEW
TXR	27.12MHz	10000W	
TXM	2MHz	800W	開発中
TXM	2MHz	2400W	開発中
TXM	2MHz	5000W	
TXH	60MHz	3000W	開発中

→製品ラインナップの充実

NEW

マークV・高効率電源に取り組みます。

マークV

- 制御周期が早くなることで負荷変動時の追従性向上
- RF ON時における立ち上がり速度向上
- パルス動作時の出力電力の安定性向上

高効率電源

- AC-RF変換効率の向上
- 小型化
- ローコスト

自動インピーダンス整合装置



AMVSシリーズ

シリーズ	周波数	定格電力	
AMVS	400kHz	500W	
AMVS	400kHz	1000W	
AMVS	400kHz	2000W	NEW
AMVS	13.56MHz	600W	NEW
AMVS	13.56MHz	1000W	開発中
AMVS	13.56MHz	2000W	NEW
AMVS	13.56MHz	3000W	NEW
AMVS	13.56MHz	20000W	NEW
AMVS	60MHz	3000W	開発中

特長

- ・従来のAMVGシリーズと比べ
さらに整合動作がより速く安定

→製品ラインナップの充実

直流電源



バイポーラ電源
10kW/20kW type

特長

- ・マルチ出力に対応

光学・半導体市場等への販路開拓

高電圧電源



静電チャック電源

特長

- ・UL準拠、高電圧出力（±10kV）に対応

マイクロ波応用機器



マイクロ波電源

新たな収益の柱
新製品開発

コンポーネントでの販路開拓



アイソレーター体型発振器
発振周波数 2.45GHz



オートチューナー

特長

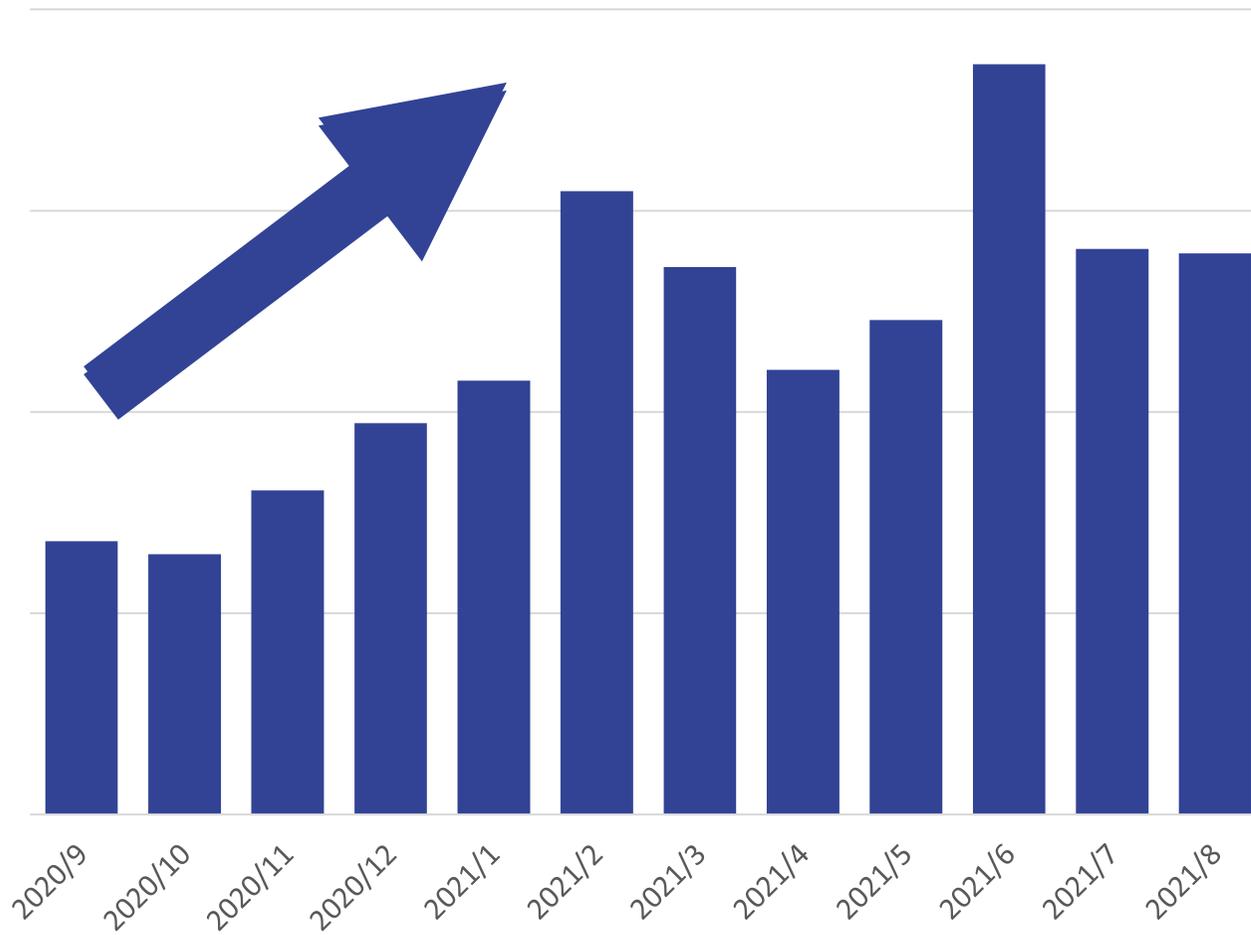
- ・プラズマプロセスシステム用装置に対応

業界の動向

		2021年	2022年 (1月～6月)	2022年 (7月～12月)	内容
半導体	メモリ 				DX化による5G、IoT、AI等の情報通信技術の拡大に伴い、スマホ、PC、タブレット、データセンター向け需要が引き続き好調。各デバイスメーカーの設備投資が大幅に増えている。
	ロジック 				AI、車載、データセンター等の幅広い用途に必要であり、特に台湾、韓国、中国、アメリカ市場において、2021年は2020年を大幅に上回る設備投資が行われており、2022年においても2021年を上回る設備投資が行われると予測する。
	イメージセンサ 				5G、IoT、AI等の情報通信技術の拡大に伴い、スマホ、車載向け需要が増加し、設備投資が増える見通し。
	車載半導体 				世界の自動車メーカーによる電気自動車の普及拡大や自動運転技術の実用化に向けたパワー半導体使用数の増加が続く。
スパッタ・蒸着 (有機EL・FPDを含む)					5Gインフラ整備、顔認証、5G対応スマホ拡充により、2022年からエンドユーザーによる設備投資が増える見通し。

業界の動向（受注環境）

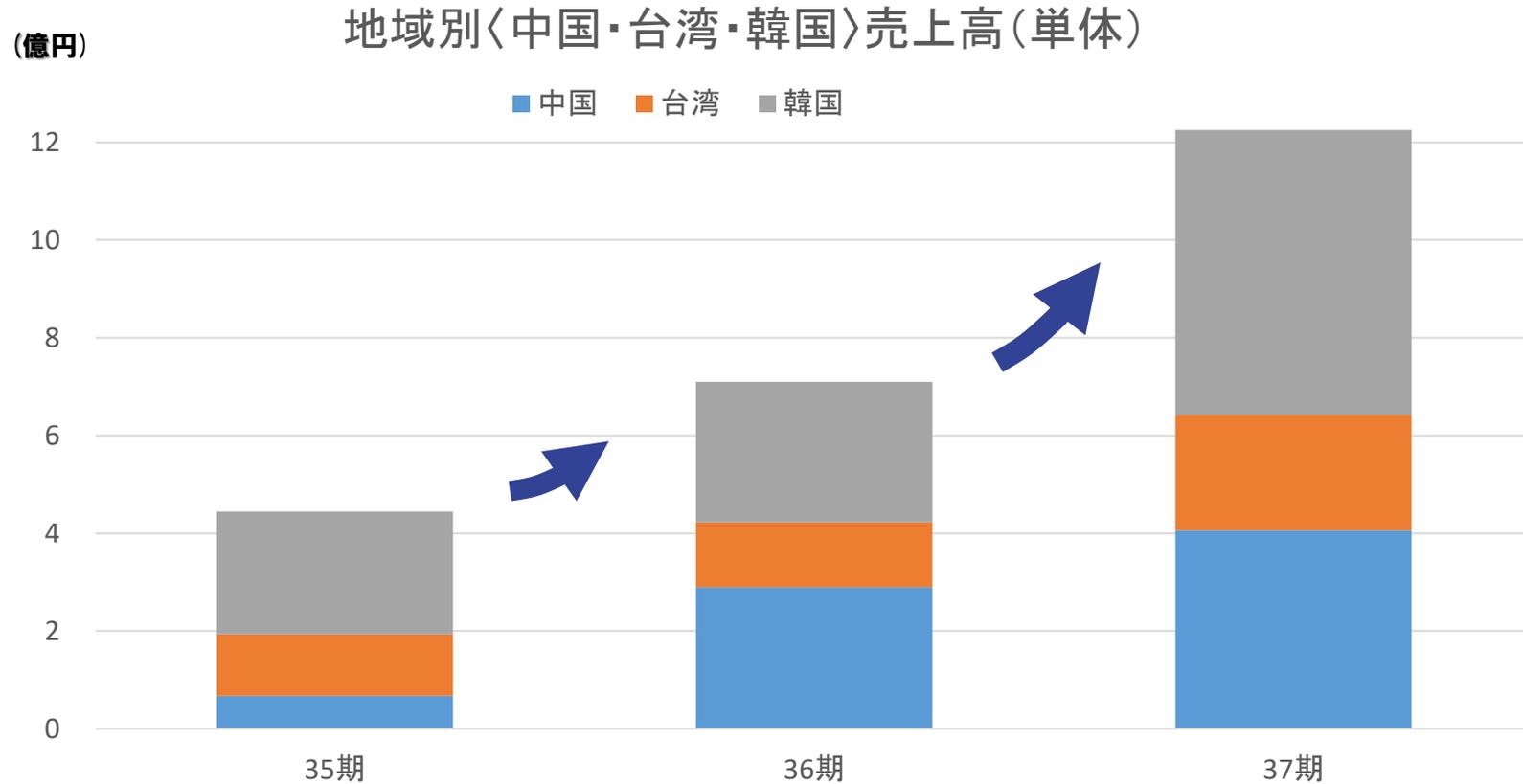
受注高(単体)



半導体メーカー
の設備投資 ↑

急速に改善

業界の動向（売上高）



	35期	36期	37期
中国	0.6	2.8	4.0
台湾	1.2	1.3	2.3
韓国	2.5	2.8	5.8

グループ連携の強化



海外子会社（ベトナム・韓国・台湾）
生産ライン増強



佐野事業所（IDX内）
生産ライン増強



営業活動の一体化
（例：海外展示会におけるアドテック・
IDX製品のプロモーション）



佐野事業所（IDX内）
アドテック設計部門を設置

グループ連携の強化

生産能力増強に向けた取組

生産面

時期	拠点	ライン	
2021年5月	佐野事業所	TX電源ライン	増設
2021年6月	佐野事業所	TR電源ライン	新設
2021年7月	韓国子会社	マッチャーライン	増設
2021年7月	ベトナム子会社	AX・TS電源ライン	増設
2021年7月	ベトナム子会社	マッチャーライン	増設
2021年8月	佐野事業所	AX電源ライン	新設
2021年8月	佐野事業所	マッチャーライン	新設
2021年8月	台湾子会社	AX電源ライン	新設



台湾子会社 AX電源ライン



佐野事業所 TX電源ライン



佐野事業所 マッチャーライン



韓国子会社 マッチャーライン



ベトナム子会社 マッチャーライン

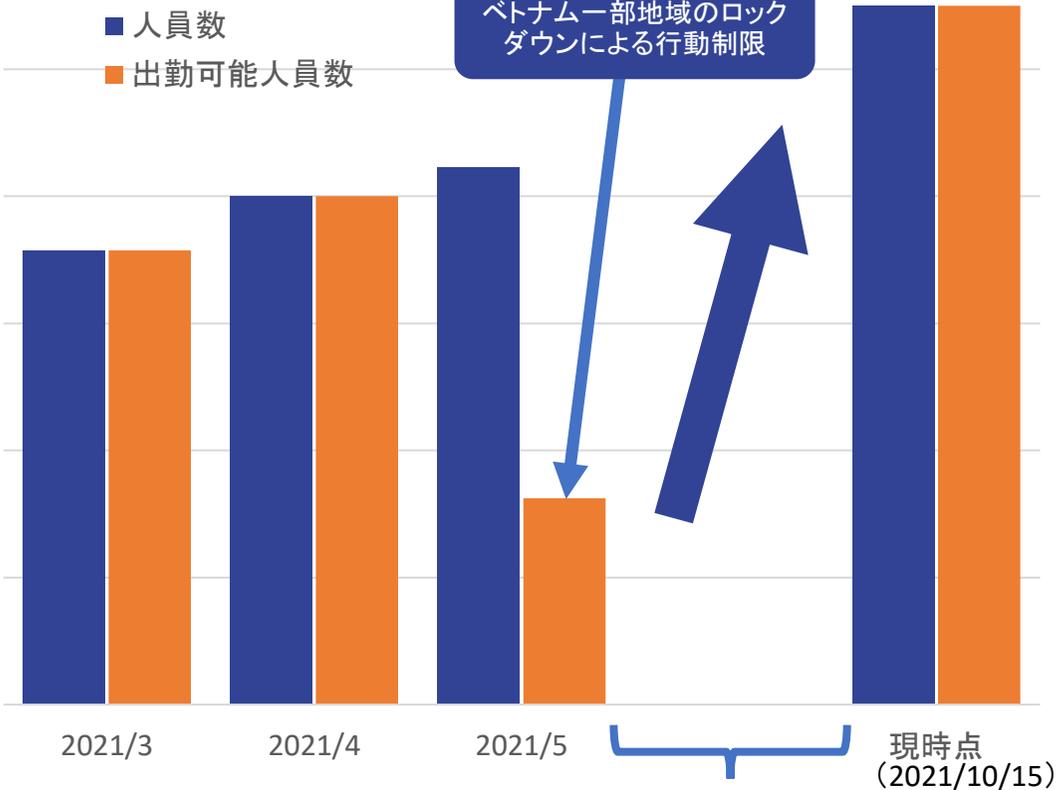


ベトナム子会社 AX電源ライン

※マッチャーとは、自動インピーダンス整合装置を指します。



出勤可能人員数



ワクチン集団接種



PCR検査を実施(毎週)

工場を宿泊施設とすることで生産活動継続

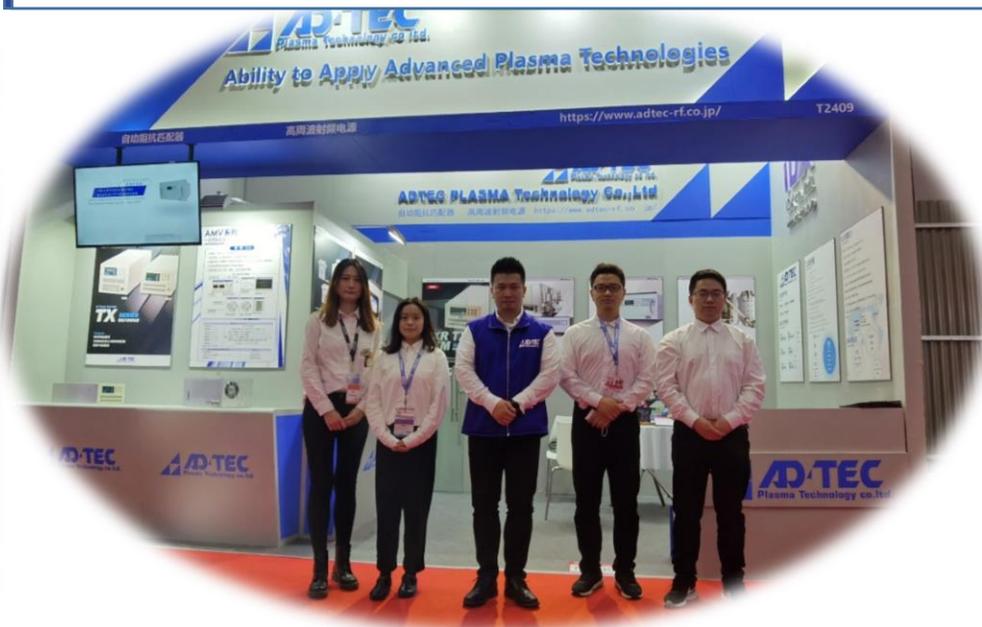


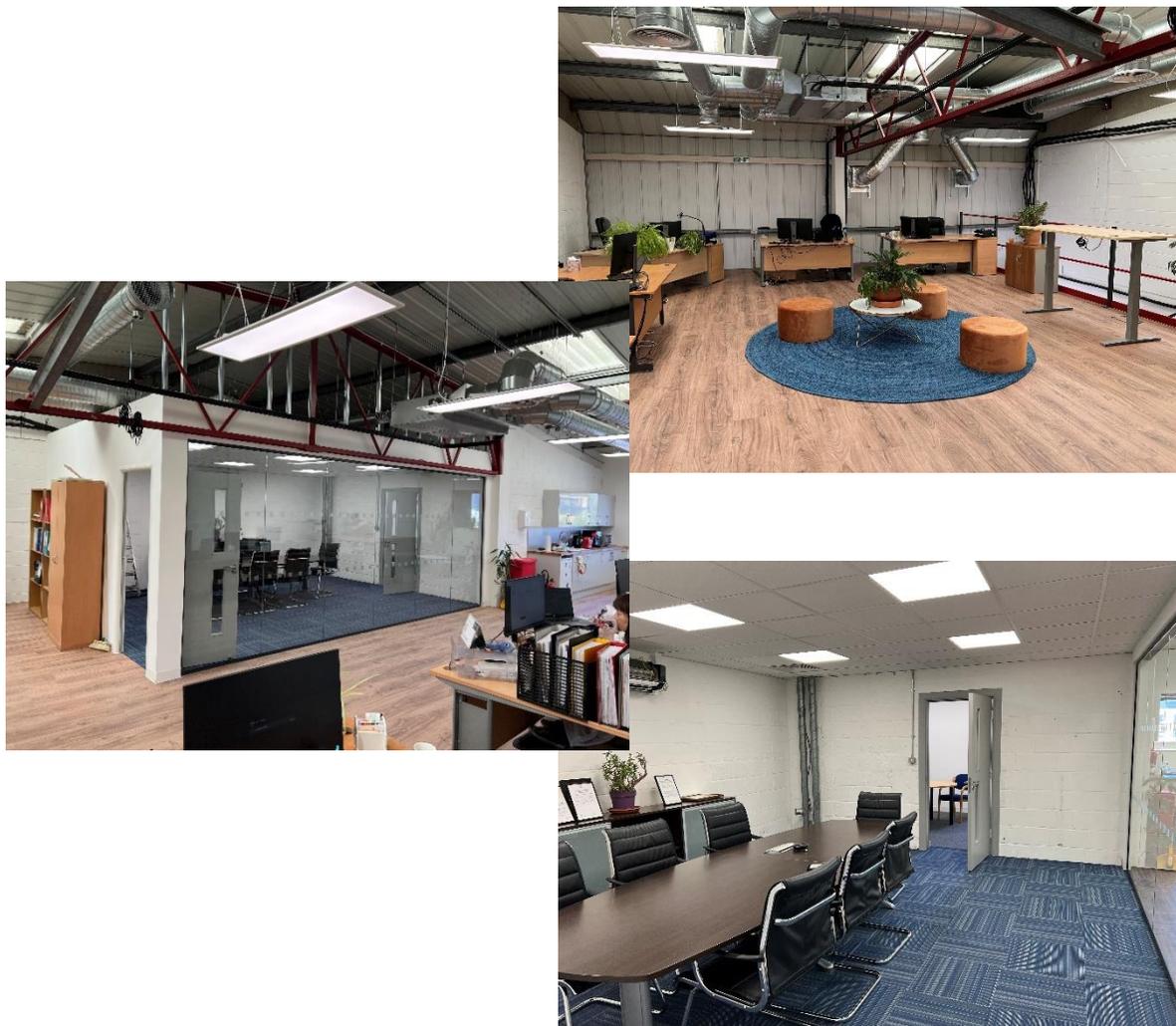
中国子会社 蘇州啐啄電子有限公司

「セミコン中国2021」出展

半導体関連の国際展示会「SEMICON China 2021」が3月17日～3月19日までの3日間、中国上海市の上海新国際博覧センターで開催されました。

新規顧客獲得のため、中国・台湾を始めとした有望市場における営業活動を積極的に展開してまいります。





オフィス移転

2021年7月、トゥイッケナムにオフィスを移転しました。
営業活動の更なる強化に注力してまいります。



SteriPlas (ステリプラス)



特長

創傷の感染症治療やバイオフィルムの滅菌に効果。一般用に小型化・軽量化に成功

※欧州医療機器認証CEマーク認証

トピックス

・7月7日～7月9日までの3日間、英国マルバーンで開催された「国際糖尿病足病学会」に出展しました。



アドテックグループ・海外代理店



Adtec Europe Ltd.
イギリス



愛笛科技有限公司
台湾



Hana Technology
韓国



Adtec Technology, Inc.
アメリカ



蘇州啐啄電子有限公司
中国



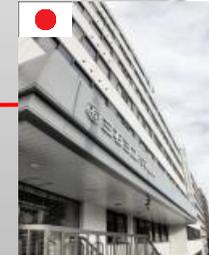
株式会社IDX
栃木県



PHUC SON TECHNOLOGY CO.,LTD.
ベトナム



株式会社アドテックプラズマテクノロジー
(本社)
広島県



東京テクニカルセンター
神奈川県

海外代理店

-  シンガポール: Odyssey
-  中国: ATEK
-  台湾: ATEK
-  台湾: NFORT

ご静聴ありがとうございました

【当資料取扱い上の注意点】

当資料には将来見通しが含まれております。将来見通しは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

この将来見通しは仮定または仮定に基づく根拠が含まれており、環境によっては想定された事実や根拠は実際の結果とは異なる場合があります。

当社または当社の経営者は将来の結果についての期待または確信を述べておりますが、その期待や確信、あるいはそれに近い結果が実際に達成されているという保証はありません。

また法令上、別途の定めがある場合を除き、当社はいかなる将来見通しも最新のものとする義務を負っておりません。